## 社団法人 日本建築家協会 監修

## 2006 年度版 建築工事共通仕様書 改訂概要

 共通	各章全般に基準、規格、法規及び文章表現の見直し
1 総則	1.6 竣工引渡時の提出書類に構造図を追加
2 仮設工事	2.3仮囲い高さの基準面の設定2.3仮設扉の開き形式の設定
4 地業工事	4.2.2 遠心力鉄筋コンクリート杭(RC杭)削除
7 鉄骨工事	<ul> <li>7.2.4 構造用アンカーボルト (A種) の材質見直し</li> <li>7.11 耐火被覆材で下記仕様を追記</li> <li>7.11.5 セラミック系耐火被覆材</li> <li>7.11.6 発泡性耐火被覆材</li> </ul>
14 金属工事	14. 8. 2 軽量鉄骨天井下地における耐震に対する記述の追記
15 左官工事	15. 3. 5 モルタル塗りの仕上げ精度の見直し 15. 4. 4 せっこうプラスター塗りの仕上げ精度の見直し
16 建具工事	16. 4鋼製軽量建具を新項目として追加16. 6. 1自動回転ドアの安全性の JIS を追記16. 7. 1指定建物錠の性能表記を表に改訂
19 塗装工事	19. 1. 6 さび止め塗料一覧表を鉄鋼面と亜鉛めっき面に分けたさび止め塗料一覧表から鉛丹さび止めペイントを削除 19. 2. 2 下記塗装仕様 塗り回数を変更